

夏休み「直接体験」が大切！



74日間の1学期が終了です。

明日から26日間の夏休みが始まります。子ども達が学校を離れて、家庭を中心とした生活を送る中で、自主的・自律的に生きる力を身に付けるためのよい機会ですし、自然体験などの様々な活動を通じて豊かな人間性を培う機会でもあります。

体験活動が大切

体験活動とは、文字どおり、自分の体を使って実際に体験する活動です。この中には、実物に実際に関わっていく「直接体験」のほか、インターネットやテレビ等で感覚的に学ぶ「間接体験」、シミュレーションや模型を通して学ぶ「疑似体験」があります。今の子ども達は、「間接体験」「疑似体験」が圧倒的に多く、子どもたちの成長にとって、マイナスの影響を与えていると思われます。

平成14年文科省の「学習意欲に関する調査」では、<自然に触れる体験をしたあと、勉強に対してやる気が出る子どもが増える>、平成22年国立青少年教育振興機構の「子どもの体験活動に関する調査」では、<子どもの頃の自然体験が豊富な大人ほど、やる気や生きがいを持っている人が多い>というデータもあります。

子どもたちは、実際の体験を通じて感動したり、驚いたりしながら、「なぜ、どうして」と考え深め、そこから、自分たちが生活している現実の社会や自然がどのようになっているのかと考えを広げていくことが出来ます。ですから、子ども達の成長の大切な栄養素となり、生きる力をはぐくむ基礎となっていく体験活動の機会を豊かにすることはとても重要といわざるを得ません。

明日から始まる夏休みを利用して、野付の自然や社会（生活）を積極的に体験して欲しいです。旅行の機会があれば、見知らぬ街での体験もよい学びになります。

そして、お家の人や地域の人達が一緒に活動していくことが効果的であります。お父さん先生、お母さん先生、おじいちゃん先生、おばあちゃん先生、街の先生のみなさん、子ども達の体験活動にご協力下さいますよう、どうぞよろしく願いいたします。



校長 音川 忠志

<夏休み>7月25日(金)~8月19日(火)

<始業式>8月20日(水)

*事故なく、ケガなく、楽しい思い出

